

地域の魅力満載で笑顔溢れる1日に

12月7日(日)、朝陽地区コミュニティセンターで、朝陽フェスタを行いました。

ステージショーや地元産野菜販売、防災カフェとして地震体験、飲酒状態の疑似体験などを行いました。訪れた約400人は、スタンプラリー形式で各ブースを周り、地域のイベントを楽しみました。



【情報提供：朝陽地区コミュニティ協議会】

迫力の演奏に感動

12月11日(木)、海星中学校で、鹿児島県警察音楽隊によるコンサートをかのこ幼稚園、手打小学校、長浜小学校、海星中学校で共同開催しました。

保護者や地域の方々も来場され、迫力ある演奏に音楽への興味を一層深めることができました。また子どもたちも演奏に参加し、音楽隊と一緒にすてきな音色を奏でました。



手作りの作品で新年を迎える

12月14日(日)、少年自然の家で、新年を迎える手作りのつどいを実施しました。

門松作りとしめ縄作りに20家族が参加し、オリジナルの門松やしめ縄を製作しました。笑顔いっぱい楽しい時間を過ごし、新年を手作りの作品で迎える準備が整いました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。

音楽と踊りで入来を元気に

12月7日(日)、入来文化ホール別館で、「入来を元気に」と題し、イベントを行いました。

当日は、ピアノと管楽器による昭和の歌の演奏、お座敷芸の唄や踊りが行われました。約150人が会場を訪れ、一緒に歌を歌うなど大いに盛り上がりました。



【情報提供：チーム入来おこし】

全国の舞台で活躍誓う

12月11日(木)、れいめい高等学校男子・中学校女子バスケットボール部の選手・監督ら15人が表敬訪問しました。

両部は県大会で優勝し、12月と1月に行われる全国大会への出場報告を行いました。代表して男子主将の野田選手は、「全国大会では、れいめいらしいプレーを行い、

1勝でも多く勝てるように頑張りたい」と意気込みを語りました。



郷土芸能の継承に尽くした3氏を称える

12月15日(月)、本庁で、文化功労者等表彰式を行いました。

本市では、芸術、文化の振興、発展に永年貢献された個人・団体を表彰しています。

今年度は、寄田棒踊保存会よりたぼうおどり、草道郷土芸能保存会くさみち、高城町虚無僧踊り保存会こむそうから3人が受賞されました。



迫力の演奏に感動

12月11日(木)、海星中学校で、鹿児島県警察音楽隊によるコンサートをかのか幼稚園、手打小学校、長浜小学校、海星中学校で共同開催しました。

保護者や地域の方々も来場され、迫力ある演奏に音楽への興味を一層深めることができました。また子どもたちも演奏に参加し、音楽隊と一緒にすてきな音色を奏でました。



甌ミュージアム 入館者数 1 万人達成

11月16日(日)、今年4月に開館した甌ミュージアムの入館者数が1万人を達成しました。

1万人目となったご家族は「恐竜を楽しみに10年ぶりに甌島に来たが、1万人目になってとても驚いた」と喜びました。

今後も魅力的な展示や子どもたちの喜びの場を提供できるよう、調査・研究、普及・啓発を進めていきます。



被災者への支援のために

11月19日(水)、薩摩川内市 Woman 創 ing(会長三本 積世氏)から、寄附金の贈呈がありました。

同団体は、女性の立場から地域の諸問題を市へ提案し、地域の発展につながる活動を続けています。頂いた寄附金は、災害による被災者への支援のため、大切に活用させていただきます。



自分で作るお弁当の日

11月25日(火)、海星中学校で、生徒が弁当を手作りして持参する「自分で作るお弁当の日」を実施しました。

これは、島内に高校がない子どもたちの「島立ち」を見据えて行っています。生徒たちは家族の協力してもらいながら栄養や彩りを考えたとてもおいしいそうなお弁当を作り、「大変だったけど達成感があった」と感想を話しました。



税教育の功績により表彰

11月18日(火)、川内税務署から川内商工高等学校に感謝状が贈呈されました。

これは、本校におけるインボイス制度に関する租税教室の実施や、「税に関する高校生の作文」への継続的な参加が税教育の功績として認められたものです。さらに、「税に関する高校生の作文」では、商業科1年生の生徒が川内税務署長賞を受賞し、これまでの取り組みが大きな成果を収めました。



【情報提供：川内商工高等学校】

れんげ草いっぱい咲いてね

11月22日(土)、入来こども園近くの田んぼで、園児たちがれんげ草の種まき体験をしました。

園児たちは川薩地区養蜂協会会員の指導の下、「はちさん、遊びに来てね」と何度も種をまきました。その後田んぼを走り回ったり、自分たちで作った看板を立てたりして楽しいひと時を過ごしました。



【情報提供：入来こども園】

魅力ある学校づくりが評価

11月26日(水)、隈之城小学校、平佐西小学校、東郷学園義務教育学校の教諭3人が表敬訪問し、県優秀教職員表彰の受賞を報告しました。

これは、学校教育における学習指導や生徒指導などで顕著な実績がある教職員や学校を表彰するもので、学習者主体の授業づくりや金管バンドの指導、組織的な校内研修の取り組みが評価されました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。

自分で作るお弁当の日

11月25日(火)、海星中学校で、生徒が弁当を手作りして持参する「自分で作るお弁当の日」を実施しました。

これは、島内に高校がない子どもたちの「島立ち」を見据えて行っています。生徒たちは家族の協力してもらいながら栄養や彩りを考えたとてもおいしいそうなお弁当を作り、「大変だったけど達成感があった」と感想を話しました。



科学や探究の楽しさ知って

下甕・海星中で鹿大が出前授業



薩摩川内市下甕の海星中学校で、鹿児島大学大学院

理工学研究科の小山佳一科長(58)による出前授業があった。離島と本土の教育格差を埋めることを目指す鹿大理学部の取り組みで、甕島での実施は初めて。全校生徒20人は身近なもの観

察や実験を通じ、科学の楽しさを学んだ。

2022年に始まった出前授業「目指せ未来科学者」。海星中では3日、塩やハツカの結晶を観察し、発熱反応や磁石に関する実験をした。繰り返し使える「リウオームカイロ」の仕

小山佳一科長(左から2人目)から科学の楽しさを学ぶ生徒たち。薩摩川内市下甕の海星中学校(同校提供)

組みの解説もあった。生徒たちは活発に意見を述べ、実験も盛り上がった。

3年の山口柊斗さんは「身近なものでも初めて知ることが多く驚いた。物事の仕組みが分かると興味深い」。小山科長は「科学や探究の楽しさ、何より知らないことを知るのをおもしろいと感じてもらえたら」と話した。(藤本わかな)